

災害から子どもたちを守るために ～家族で話し合ってみませんか？～

災害はいつ起こるか分かりません。お子様が保護者の方と一緒にいない時に被災することもあります。

また、大規模災害時、お子様がいる場所にすぐに駆けつけられるとは限りません。保護者の方がいない時でも、子ども自身が心の安定を保ち、適切な行動をとることができるよう、日頃から家族で避難場所、避難経路、非常時の連絡方法などを決めておくことが大切です。

どのように避難するか決めていますか？

集合場所・避難場所

災害が発生したら、どこへ避難するか、確認しておきましょう。地域で想定される災害や一時避難所、指定避難所を「ハザードマップ」で確認しておく、いざという時に安心です。親子が離ればなれになったときの対応についても話し合っておきましょう。

避難ルート

避難所までの道を歩きながら、危険な場所、近付いてはいけな場所などを確認しておきましょう。子どもは避難に時間がかかることも考えられ、避難にどれくらいの時間がかかるか把握しておくことが大切です。

決めたことがあれば、書いておきましょう！

離ればなれになったときの連絡方法は決めていますか？

連絡方法

通話ができない状態でも連絡が取れるように、電話以外の連絡手段を家族で確認・共有しておきましょう。

例①（災害用伝言ダイヤル）

ひとつの電話番号をキーとして、伝言の録音と再生ができます。

【使い方】

- ①「171」にダイヤルする。
- ②録音なら「1」、再生なら「2」を押す。
- ③キーとなる電話番号を押して利用する。

例②（災害用掲示板）

ひとつの電話番号をキーとして、インターネット上に伝言を残すことができます。

【使い方】

- ①web171にアクセスする。
- ②キーとなる電話番号を入力する。
- ③書き込みなら「登録」、閲覧なら「確認」を押し利用する。

例③（その他連絡方法）

各種サービスの他に、家に避難先を伝えるメモを残すことも効果的です。その場合は、メモを残す場所を決めておきましょう。

また、災害時に連絡の取り次ぎをしてくれる遠方の親戚・知人の連絡先を確認しておくことも大切です。

決めたことがあれば、書いておきましょう！

お子様が自宅で一人でいなければならない場合の過ごし方を確認していますか？



食事

お子様と非常食の食べ方やストックしている場所などを確認しておきましょう。保護者の方がしばらく帰れない場合を想定して、お子様自身で食事ができるようにしておくことが大切です。

自宅

地震などが発生した際に、家の中で特に危険な所を確認しておきましょう。日頃から、家具の固定、ガラスの飛散防止など、家の中を安全な状態にしておくことも大切です。

決めたことがあれば、書いておきましょう！

みんなで備えよう！チェックリスト

- ☐ 家族が集合する場所や避難する場所は確認していますか？
- ☐ 「ハザードマップ」などで地域で想定される災害や避難所は確認していますか？
- ☐ 避難ルート及び避難所までの時間を確認していますか？
- ☐ 離ればなれになったときの連絡方法は確認していますか？
- ☐ 非常食の食べ方やストックしている場所などは確認していますか？
- ☐ 家具を倒れないように固定するなど、家の中に危険がないか確認していますか？

